

旧理科大学校舎等改修事業

—No.28 久喜市—

【事業の目的】

東京理科大学経営学部の久喜市からの全面移転に伴い、平成28年7月に敷地と建物の一部を同大学から市が無償譲渡を受けたことから、この跡地の有効活用を図るために実施するものです。

【事業の内容】

平成28年11月に策定した「東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用計画」に基づき施設の改修工事を実施します。

また、市の将来に向けての大きな課題である人口減少・少子化の進行に対応するため、子育てや教育、生涯学習などの総合拠点として整備します。

【事業年度】

平成29年度～平成31年度

【予算額(千円)】

309,593千円（平成29年度）

【財源】

旧理科大校舎等改修事業債、場外販売場環境整備基金繰入金、一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

平成5年4月に開校した東京理科大学経営学部が、近年の少子化の進行に伴う学生の確保等を理由に、平成28年4月から久喜キャンパスからの全面移転となりました。

東京理科大学では全面移転に当たり、久喜キャンパス（136,507.4 m²）の約4割の土地と、その土地に立地する建物を市へ無償譲渡したことから、市民の意見などを参考に、その跡地の有効活用についての計画を策定しました。

【事業のPRポイント】

少子化が進行している市の将来を見据え、子育て支援及び教育の充実を図るための（仮称）久喜市子育て教育センターを整備します。また、本市の生涯学習の中核を担う施設として（仮称）久喜市生涯学習センターを整備します。

さらに、東京理科大跡地の校舎等を有効的に活用することで、アセットマネジメントの観点における市内公共施設の重複する機能の統廃合等について、推進することが可能となります。

【事業実績・成果・今後の展開】

現在、菖蒲総合支所内にある市教育委員会事務局を平成30年1月ごろに東京理科大学跡地へ移転し、子育てや教育、生涯学習などの総合拠点として活用していきます。

また、老朽化が進む学校給食施設及び設備の改善のため、市内の小・中学校全34校に対し1日当たり12,000食を提供することが可能な新たな学校給食センターの建設を予定しています。

〔 連絡先 〕

直轄 0480（22）1111（内線2101、2102）